

# 農地を守る

## 農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み

自分たちの住む集落を守るため、農地を含めた環境を良くする活動が、農地・水・環境の事業をきっかけに各地で行われています。今回は、藤原町の「坂本環境を守る会」の活動を紹介します。

### 坂本環境を守る会(坂本地区)

#### ヒガンバナ球根の植え付け

6月上旬に自治会区民を中心に子ども会と老人会が一緒(107人)になって参加し、ヒガンバナの球根を植えました。球根は800球ほどを購入し、3,000球ほどを周辺のたくさん咲いているところから間引きして採種してきたものを使い、各箇所に分かれて植え付け作業をしました。9月下旬のお彼岸からしばらくの間、見事に咲いた花が楽しめました。

きれいに咲きますように



見事に咲きそろいました



#### ヒメイワダレソウの植栽

6月下旬に、農家組合の役員でヒメイワダレソウの植え付けを行いました。今年初めて取り組んだもので、部分的にはなりませんが、ポット苗600個を農道の<sup>のりめん</sup>に植え、今後の法面管理の軽減と、咲いた時の可憐な花を楽しみにしています。



農地周辺の竹やぶ伐採



水路ゲートのペンキ塗り

環境活動のほか、地域内の草刈りや用排水路の清掃等の活動を行いながら、水路ゲートのペンキ塗りなどを行っています。今後もこれらの活動を継続しつつ、水質の保全についても取り組んでいきたいと考えていて、地域みなさんにPRして意識付けし、活発な活動の計画をしていきたいと思ひます。

問 藤原庁舎 農村整備課 T 46-6304 F 46-6319

### 編集後記

先日、子どもの授業参観日で先生がリンクに掲載してあった「裁判员制度」の記事が、「とても分かりやすく説明してあるからきちんと見ておいてくださいね(テスト対策になるかも...)」と書いていました。それを聞いてうれしくもあり、また中学生にも分かりやすく制度の説明などをしていけたらなあと思ひました。広報の勉強会に行くと、「中学生が読んで分かる広報誌づくりを!」と言われます。難しいことばや制度を分かりやすく伝えるという事は、難しいことばを並べるよりも難しいということを実感しているので、これからますます勉強をしていきたいと思ひます。

### いなべいきいきマイタウン

#### ソバの花咲き誇る真ん中でそば打ち

坂口正人さん(北勢町)は、趣味が高じて本格的にそばを打ち始め、毎年3反栽培し、自前の石臼で製粉を行い、自宅の一部をそば打ち場に改装し、そばを楽しんでいるそうです。また、近所の治田小学校の児童たちにそば打ち指導もされています。また、昨年全蕎協の「素人蕎麦打ち」初段位に認定され、ソバの生産とそば打ちの普及活動をしている



ということで、『地産地消』と『いなべブランド』づくりに一役担っていただいています。



いなべ産の常陸(ひたち)秋蕎麦

全蕎協: 全国蕎麦文化地域間交流推進協議会(「そば」で地域づくりを行う団体です)

情報提供: 藤原庁舎 農業振興課



生活情報「まいめる」QRコード



モバイルサイトQRコード



いなべ市ホームページ(携帯電話用)QRコード

記事にあるQRコードは一部の携帯電話でご利用になれない場合があります。

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821

編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>

平成20年11月1日発行 Vol.60